

システム名	医療情報管理システム(Webファイリング)	ユーザー	M病院
旧システムの問題点	レントゲン関連機器(CR・RF・CT)を数年前よりデジタル化しDICOMサーバーで一括管理していたが、空き容量が少なくなり新規増設かリプレースの必要性が出てきた(費用がその割には高価)。更に、現実には直近の2年分以外の過去分は検索頻度が極端に低く必要性は低いが保存しておきたい。また、読影レポート・検査データ・その他関連資料も管理出来るシステムの一元化の必要性に駆られていた。		
メリットなど	新規DICOMサーバーの増設費用と同等以下の予算で、本システムの導入ができ経済的メリットが出た。レントゲン関連写真を見るのに各端末ではライセンス料など費用が膨大になるところを、Webでノンアプリデータで閲覧可能となったため費用が嵩まず、更に読影レポート・検査データ・その他関連資料が一元管理出来るようになり情報管理のシステムアップを図ることが出来た。		

